

# 「3D メタバースにおける研究発信および研究教育環境構築の実証的研究」

## 1. セカンドライフ「Kyoto 3Di Lab」の開設

3Dインターネットビジネス研究会（会長：西浦洋・京都リサーチパーク株式会社代表取締役社長）は、次代のインターネットのプラットフォームである仮想空間の可能性を探るため、京都、関西の大学、研究機関、企業、行政、産業支援機関の参画により、2007年9月に設立し活動を行っています。本研究会活動の一環として、実証実験分科会（委員長：細井浩一・立命館大学映像学部教授）を設立し、代表的な3Dメタバースである「セカンドライフ」を活用し、学術やビジネス活用など多様な可能性と課題を検証するため、実験的なSIM「Kyoto 3Di Lab」を開設しました。分科会では、我が国でも最先端の取組として産学公連携による仮想世界を活用した共同実証実験プロジェクトを今後1年間実施することとしています。

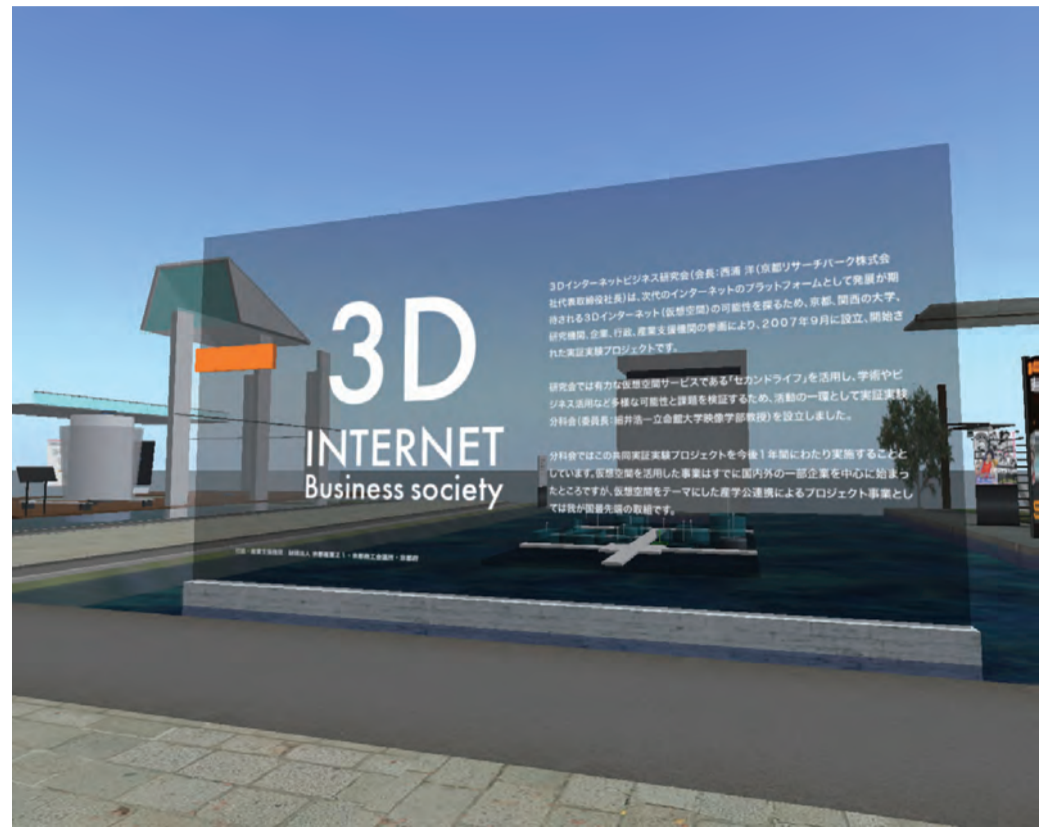


写真1：ウェルカムボード

## 「Kyoto 3Di Lab」実施概要

**SIM名：セカンドライフ「Kyoto 3Di Lab」**

**開設時期：**2008年2月8日（金）から同年12月末までを予定

**概要：**SIM内に、「エデュケーション」「eコマース」「プロモーション」「コミュニティ」の4エリアを設定し、参加団体・組織がそれぞれの活用方法や可能性、課題を検証する。コンテンツは参加する企業・団体が共同又は単独で制作。

**分科会会員：**【企業】(株)アドルック、(株)インスパイア、(株)エフエム京都、オーエフ・テック(株)、大阪ガス(株)、カゴヤ・ジャパン(株)、京都新聞社、京都リサーチパーク(株)、KBS京都、(株)太洋堂、東映(株)京都撮影所、(株)トーセ、ナスコ(株)、(株)日商社

【大学・教育機関】NPO法人アントレプレナーシップ教育開発センター、京都学園大学、京都工芸繊維大学、京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院、京都大学、立命館大学、和歌山大学、

【行政・産業支援機関】(財)京都産業21、京都商工会議所、京都府。

**事務局：**(財)京都産業21、TEL：075-315-8677

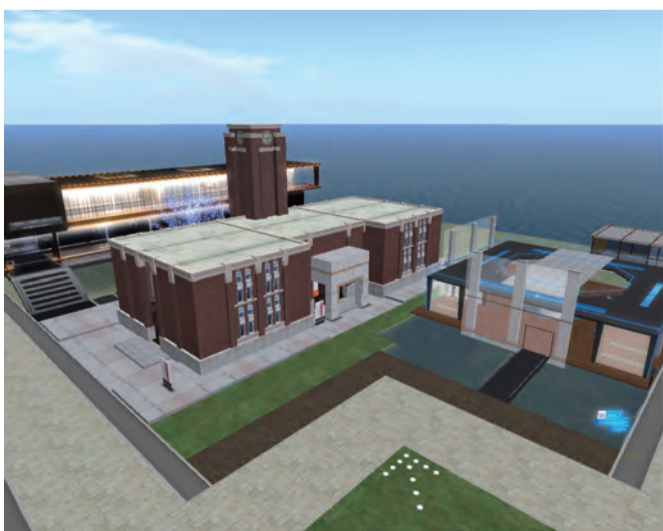


写真2：エデュケーションエリア（一部）



写真3：e-コマースエリア



写真4：KYOTO Panorama Gallery

## 2. セカンドライフ「立命館」の開設

立命館大学細井・中村研究室は、セカンドライフ「Kyoto 3Di Lab」のエデュケーションエリアをベースに、大学として以下の実証実験を進めていきます。

### 1) 大学広報の実証実験

セカンドライフ内における大学広報の窓口となる「Rハウス」を建設しました。「Rハウス」は2007年10月に策定した立命館のコミュニケーションマークを随所にあしらい、建物内では同マークを胸にデザインした2種類のTシャツを無料配布するとともに、学園の広報ビデオの上映やパンフレットの配布を行います。

### 2) 映像学部の教育と成果の発信

セカンドライフ内に衣笠キャンパスにある映像学部の学部棟（充光館）と同じコンセプトの建物を建設し、映像教育カリキュラムにおいて活用するとともに、学生の成果発表などを行なう予定です。



写真5：Rハウス

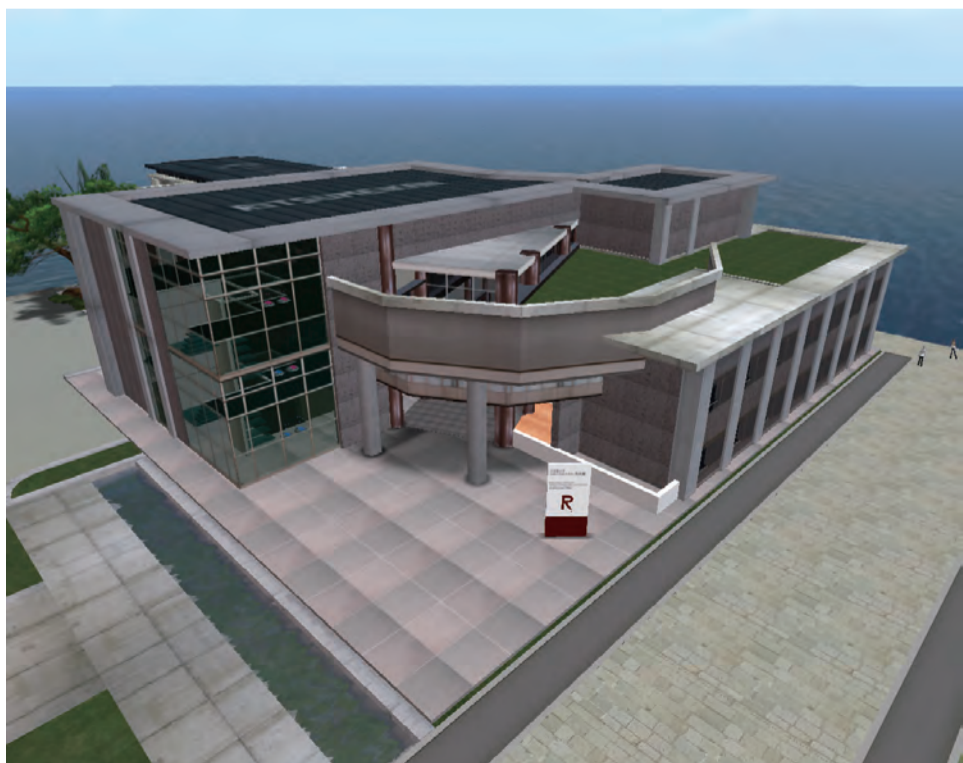


写真6：立命館大学 充光館（映像学部基本棟）



写真7：デジタルアーカイブ資料室

### 3) 文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」の研究発信

文部科学省のグローバルCOEプログラムに採用された「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」に蓄積している日本文化・京都文化の事象に関する研究成果を発信していきます。同拠点には、人文系と情報系の融合を狙い蓄積してきた、京都や日本文化にかかわる無形・有形文化財のデジタルアーカイブとデータベースが100万件以上存在し、国内トップレベルの実績を誇っています。一例として、高精細のCGで再現された舞台において、デジタルアーカイブされている能などの伝統芸能を実際に体験できる空間を構築すること、また、テレビゲームに代表されるインタラクティブなエンタテインメントソフトのデジタルアーカイブを公開することなどを検討しています。



写真8：能楽堂